

浜岡原子力発電所4号機 制御棒駆動水ポンプの軸封部の取替について(続報)

2010年6月11日

◆今回お知らせする内容

対応結果

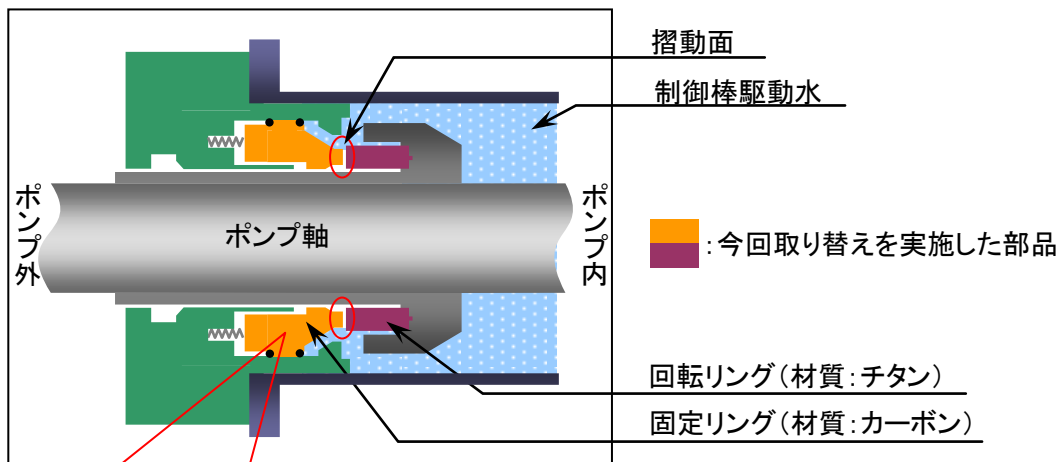
当社は、5月31日から制御棒駆動水ポンプ^{※1}(A)、(B)の軸封部の取替を順次行い、6月10日に完了しました。

取り替えた軸封部の外観を観察した結果、軸封部の摺動面に面荒れがあったことから、ごく小さい鉄錆等の不純物が摺動面に噛み込み、面荒れが生じたことで、軸封部からポンプ内の制御棒駆動水が漏えいしたものと推定しました。

現在、ポンプ(A)、(B)軸封部からの漏えいはありません。

※1 制御棒駆動水ポンプとは、制御棒を原子炉内に挿入・引抜するための駆動水を供給するポンプです。制御棒駆動水ポンプは(A)、(B)2台あり、1台運転、1台予備としています。
なお、制御棒駆動水ポンプとは別に、制御棒を原子炉内に緊急挿入するための専用の蓄圧装置を制御棒ごとに有しており、緊急時には、この蓄圧装置により制御棒を原子炉内に挿入し、原子炉を停止します。

浜岡4号機 制御棒駆動水ポンプの軸封部構造図と取外部品の写真



◆これまでにお知らせした内容

(2010年5月28日公表)

発生号機	4号機（定格熱出力一定運転中） ：沸騰水型、定格電気出力 113.7 万キロワット
発生年月日	2010年5月28日
状況	<p>当社は、4号機の原子炉建屋地下2階（放射線管理区域内）に設置している制御棒駆動水ポンプ(A)、(B)について、ポンプ軸封部に同ポンプの機能に影響はない僅かな漏えいを確認したため、これまで軸封部の漏えい量を監視するとともに、ポンプの運転を継続してきました。</p> <p>現在運転中のポンプ(B)について、漏えい量が軸封部の取替目安の半分程度まで増加したため、予防保全の観点から、ポンプ(A)、(B)の軸封部の取替を行うこととしました。</p> <p>今後、準備が整い次第、予備機で停止中のポンプ(A)の軸封部の取替を行い、ポンプを切り替えた後、ポンプ(B)の軸封部の取替を行います。</p> <p>なお、本事象による原子炉の緊急停止機能およびプラントの運転への影響はなく、安定運転を継続しています。</p>
放射能の影響	<p>軸封部からの漏えい水は、ポンプに設けた専用の受皿を介して液体廃棄物処理系に排水され、適切に処理しており、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>また、制御棒駆動水ポンプ軸封部の取替作業に際しては、必要な放射線防護対策を講じた上で作業を行います。</p>
お知らせ基準	運転情報「表2-1 原子炉の運転中に運転に関連する主要な機器の軽度な故障があったとき。」に該当します。

以上